

初めての栽培を応援

# 園芸入門

野菜編

摘みたてが最高

フレッシュバジルの香りを楽しもう!

## バジル (スイートバジル)

作型図	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
寒地 / 寒冷地					●	●	●	●	●	●		
温暖地				●	●	●	●	●	●	●		
暖地			●	●	●	●	●	●	●	●		

● まきどき ● 収穫期

※栽培方法・時期は目安です。適温でのタネまき、地域や条件に合わせた栽培をおすすめします。  
※発芽適温が高いため、直（じか）まきの場合は遅霜の心配がなくなってからまきましよう。

### おすすめアイテム

＼ タネ ／



ハーブ **バジル** (スイートバジル)

※タネ袋のデザインは変更することがあります。

＼ タネまき資材 ／



**ジフィーセブン**  
(そのまま植えられる土ポット)

＼ 定植用培養土 ／



**野菜三昧**®

### 基礎情報

分類	シソ科
用途	地植え / 鉢植え
日当たり	日なた / 半日影
耐暑性	中
収穫までの日数	50日～

### タネをまく前に 毎回確認! タネまき基本3チェック

#### ☑ 気温をチェック

気温が高過ぎても低過ぎてもうまく発芽できません。天気予報などで気温を確認してからタネをまきましよう。特に春は日中暖かくても夜は冷えるので注意してください。

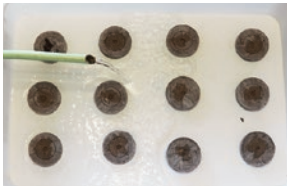
#### ☑ 土の厚さをチェック

発芽するときに光を好むもの、嫌うもの、どちらでもいいものがあります。必ずチェックしてからまきましよう。

#### ☑ 土が乾燥していないかチェック

タネまき後、発芽まではこまめに水やりしてください。発芽するまで乾燥は厳禁。ジョウロでの水やりでタネが流されそうな場合は霧吹きを使ってください。

## 手順 1 タネまき



ジフィーセブンをトレーに入れてたっぷりの水で膨らませます。



ジフィーセブンの中央部を割り箸で軽くほぐします。



タネを2〜3粒ずつまきます。



割り箸で土を優しくかけます。

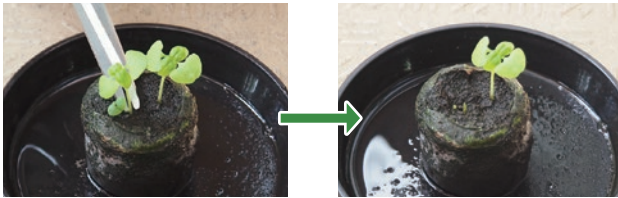
タネまき時期は暖かい地域は4〜6月、寒い地域では5〜6月です。発芽適温は20〜25℃と高いので温度が足りない場合は、室内でタネをまきましょう。「ジフィーセブン」に2〜3粒ずつまき、ごく薄く土をかけます。上から水をやるとタネが流されてしまうので発芽するまでは「ジフィーセブン」の底から水を吸わせるようにします。発芽日数は5〜10日です。発芽するまでは乾かさないうち注意しましょう。発芽がそろったら受け皿の水は捨て、乾いてきたら吸水させるようにすれば、根張りのよいしっかりした苗に育ちます。

### ジフィーセブンってなに？

中央のくぼみにタネをまき、芽が出たらそのまま植え付けできるタネまきお助けアイテムです。タネまき用土など特別に用意しなくてもタネまきが手軽にできます！



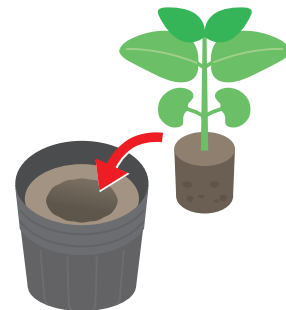
## 手順 2 間引き



本葉が2枚くらいのところに、よい苗を残して1本にします。苗をできるだけ日に当てるようにします。

## 手順 3 仮植え

本葉が4枚くらいのところに直径9cmポリ鉢などに植え替えます。土は初期肥料配合済みでそのまま使える「野菜三昧」がおすすめです。



## 手順 4 定植

20〜30cm間隔で植え付けます。直径18cm鉢に1株、65cmプランターには2〜3株を植え付けます。仮植えと同様に土は「野菜三昧」がおすすめです。



## 手順 5 摘芯

気温の上昇とともに、大きく育ってきます。本葉10枚以上になったら、芯を摘んでわき枝を伸ばし、葉を多く出すようにします。

7月中旬には、シソに似た形の白い花を咲かせます。花後にタネを付けてしまうと株が老化しやすいため、花穂は早めに摘み取ります。

